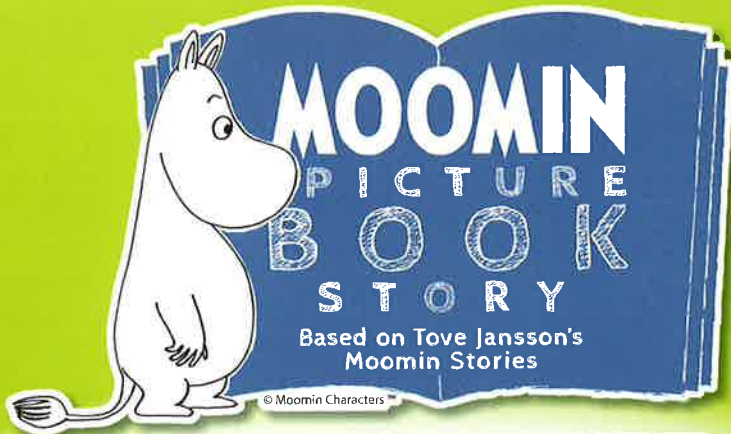


FUKU-FUKU

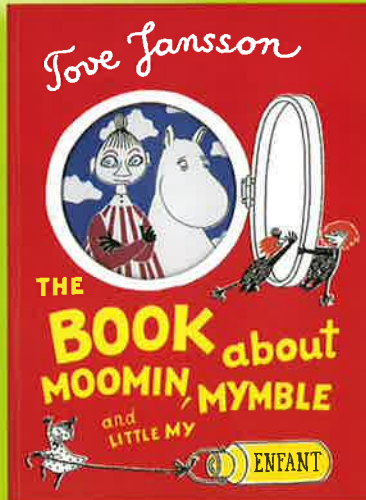


ムーミン絵本の世界展

トーベ・ヤンソンの原作から、描きおろし新作絵本ができるまで



「Moominfamily's Songbook」彩色原稿



トーベ・ヤンソンのムーミン絵本「それから どうなるの？」 英語版

フクちゃん 横山隆一 (1967年)



「ちびのミイがやってきた」彩色原稿

新しいムーミン絵本の世界
また新作のムーミン絵本を描きおろす公認作家、カールラ夫妻の原画約80点を日本初公開します。

カールラ夫妻は、トーベの世界観を尊重しながら最新のムーミン絵本を描きおこしており、その新作絵本は日本でも次々と翻訳出版され話題となっています。夫妻の、オリジナル作品がもつ世界観に独自のユーモアを加えた原画は必見です。あわせて、トーベの絵本や映像とも比較しながら制作過程も紹介します。

トーベ・ヤンソンが残した3冊のムーミン絵本、ムーミンは、フィンランド出身の女性作家、トーベ・ヤンソン(1914~2001)が書いた童話に「ムーミンとロール」として登場しました。その後まんがや絵本、アニメなどを通して世界中に広がり、今でも多くの人々に愛されています。

その中でもトーベが残した3冊のムーミン絵本は、モノクロで描かれている童話やまんがとは違い、彼女の豊かな色彩を楽しむことができる人気のシリーズです。

この展覧会では、これらの絵本をパネルや映像で詳しく紹介します。

期間●2017年9月16日(土)～11月5日(日)
場所●横山隆一記念まんが館企画展示室
時間●9:00～18:00(最終入館は17:30まで)
休館日●月曜日(ただし9月18日、10月9日は開館)
観覧料●一般 前売り700円(当日800円) / 団体640円 / 割引1400円
小学生～高校生 前売り500円(当日600円) / 割引300円
※未就学児無料、団体は20名以上 ※その他各種割引あり
主催●公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館、KUTVテレビ高知

関連イベント

トーク「やくみつるの珍宝談義」

日時●2017年6月11日(日) 13:30~15:00
場所●かるぼーと11階大講義室

「隆一 珍コレクション展」関連イベントとして、現代の珍品コレクター・やくみつるさんを招き、高知出身まんが家・左古文男さんをコーディネーターにトークイベントを開催しました。やくさんは、隆一の珍コレクションに敬意を払いつつ、自身の自慢のコレクションを紹介。会場は終始笑いに包まれ、「こんなに楽しいトークイベントは初めて」「90分が短く感じられた」などの感想も聞かれました。さらに、参加者所有の珍品を募集した「珍宝探偵団」のコーナーでは、旧はりまや橋の欄干の一部などの披露もあり、大いに盛り上がりました。

また、同日まんが館内にて2人のサイン会も開催。1冊1冊イラスト入りで丁寧にサインが書かれ、参加者を喜ばせました。



サイン会は、まんが館エントランスで開催
やくさん(左)・左古さんの掛け合いが好評だったトークイベント

ギャラリートーク

日時●2017年7月22日(土) 13:30~14:20
場所●まんが館企画展示室

横山隆一長男・横山隆雄さんをゲストに招き、奥田奈々美学芸員の進行で「隆一 珍コレクション展」のギャラリートークを開催しました。珍コレクションの意外な入手経路や隆一の親交の様子、また「ホールインワンの記念ボールが何故汚れているのか」など、家族ならではの裏話が軽妙に語られ、隆一の人柄が伝わってきました。ギャラリートーク終了後も会場に残って展示を見直す参加者も多く、長時間にわたって展示を楽しんでいました。



隆一珍コレクションの裏話を話す横山隆雄さん(奥・右から2番目)

横山隆一記念まんが館
開館15周年記念

隆一 珍コレクション展
~珍品・迷品・お蔵出し!~

開催日●2017年4月29日(土)~8月27日(日)
場所●まんが館企画展示室

横山隆一記念まんが館開館15周年を記念して、横山隆一が集めた珍コレクション747点を一挙に展示しました。この点数が一挙展示されるのは初めてのことで、訪れた人はじっくりと時間をかけて観覧していました。昭和時代を感じさせられる品が多く、懐かしみながら会話に花を咲かせる年配の方もいれば、中には「ぼくたちが生まれる前のことが知れて面白かった。すばらしかった」という子どもの声もあり、世代を超えて楽しめる展示となりました。

さらに、地元の新聞社やTV局はもちろんのこと、全国誌『週刊新潮』でも特集が組まれるなど、報道機関からの注目度も高かったようです。

7月7日からは、夏休みにあわせて「珍コレクション展クイズ」も実施。展示を観て簡単なクイズに答えるとフクちゃんの帽子クラフトをプレゼントするというもので、親子で参加する姿も見られました。



クイズ参加者にフクちゃん帽子クラフトをプレゼント



珍品・迷品が所狭しと並びました

2017夏休み

まんが体験イベント
めざせ!まんがが職人

開催日●2017年7月29日・30日・8月15日・16日・25日・26日
場所●まんが館まんがライブラリー2

好天に恵まれた今年の夏も、恒例の夏休み体験イベント「めざせ!まんが職人」を開催しました。昨年からはじめた平日コースもご好評をいただき、全6コース12教室に300人を超える参加をいただきました。

今年の新コースは「まんがカメラをつくるっ!」と「まんが石けんをつくるっ!」の2コース。牛乳パックを利用してつくるまんがカメラは紐を引っ張ると「パソコン」と場面が変わる仕組み。音を立てて場面が切り替わる様子に、みんな大喜びでした。自分が描いた絵を石けんに専用液で貼り付ける「デコパージュ」という方法を利用した「まんが石けんをつくるっ!」では、身近な素材で作れるオリジナル作品に子どもだけでなくお母さんたちも興味津々でした。毎年人気の「風鈴」「動物園」「水族館」「万華鏡」のそれぞれのコースも子ども達の工夫とアイデア一杯の作品ができあがりました。



できあがりしました

秋のMEGAマン研開催決定!

まんがを描きたい中高生を応援する「MEGAマン研」。秋の開催日が決定しました!

人物・背景の描き方、原稿用紙・道具の使い方から同人誌の作り方、部活相談まで、県内在住のマン研OBたちが指導します。

開催時間内なら都合の良い時間だけ参加できて、食べ物や飲み物の持ち込みもOK! マン研の人も、入っていない人も、まんがを描きたい人はお気軽にご参加ください。



大人気キャラ勢揃いの「じもきゃらステージ」



村岡さんとまんがで真剣勝負!

※写真は昨年の様子です

開催日 ● 2017年10月7日(土)・8日(日)
時間 ● 11:00~17:00 ※出入り自由
場所 ● 高知市文化プラザかるぼーと 10階絵画室
参加料 ● 無料
お問い合わせ ● URL: <http://mansai.org>
E-mail: megamanken@mail.117.cx

開催日 ● 2017年11月4日(土)・5日(日)
時間 ● 10:00~16:00 ※オープニングセレモニーなど一部イベントを除く
場所 ● 高知市文化プラザかるぼーと
参加料 ● 入場パスポート: 高校生以上 各日500円 小・中学生 2日間有効500円
※小学生未満無料 ※一部イベントを除く
主催 ● こうちまんがフェスティバル2017実行委員会、高知市、高知市教育委員会、高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

まんさい

2017年 11/4(土)・5(日)

今年も四国最大級のまんがイベント「まんさい-こうちまんがフェスティバル2017」が開催されます! 今年の開催は例年どおり11月で4日(土)と5日(日)の2日間。

今年もゲストは声優の濱健人さん、吉野裕行さん、森久保祥太郎さん、まんが家の横槍メンゴさんら豪華メンバー揃い。トークショーやライブドローイング、まんが対決などお楽しみイベントが満載です! コスプレしての参加もOK。「みて」「かいて」「あそぶ」、まんがとアニメを満喫する2日間をお楽しみください。

最新情報は
ホームページ
<http://mansai.org>
をチェック☆



「菜園場町」電停・いの方面行き 案内看板



「菜園場町」電停・ごめん方面行 案内看板

高知の路面電車・とさでん交通の電停に、高知県出身の西原理恵子さんの描き下ろしまんがを使った観光案内看板が設置されました。これは高知を訪れた観光客の皆様にもまんが王国・土佐としてのおもてなしを充実させるために、高知県が作ったものです。

高知市中心部「大橋通」「高知城前」「上町一丁目」「菜園場町」の、「いの方面行き」「ごめん方面行き」の各電停合計8か所に設置されています(同じ電停でもいの方面・ごめん方面で異なる内容です)。各電停周辺の観光スポットや特徴が、西原さんらしいユニークな絵とセリフで表現された楽しい看板です。「菜園場町」の(への方面行き)電停には、横山隆一記念まんが館が紹介されています。みなさんも電車に乗って看板ウォッチしてみてくださいませんか?

(資料提供: 高知県まんが王国土佐推進課)

高知
まんが家
だより

とさでん路面電車の電停に、まんが観光案内看板登場!

西原理恵子さん、高知の観光案内をする!



公益財団法人高知県文化財団
(アーツカウンシル担当)

齋藤 努

まんがの私



4つ上の兄がいた事もあって、小さい頃から月刊コロコロコミック、週刊少年ジャンプ、月刊少年マガジンなどをよく読んでいました。月刊少年マガジンには「いけない!ルナ先生」など少しエッチなまんがもあり、兄にバレないようにこっそり読んでいた事も今ではいい思い出です。

大学卒業後、舞台のプロデューサーとして10年ほど大阪で活動し、29歳の時に拠点を東京に移し、様々な舞台を創りました。ちょうどその頃からアニメやまんがを舞台化する企画が多くなり(思いがけずまんがが自分に近づいてきた印象)、今では「2.5次元」という造語までできるほど人気のジャンルとなっています(ちなみにまんがの舞台化の先駆けはデビュー前のSMAPによって1991年に上演された「聖闘士星矢」のミュージカルとのこと、ジャーナさんはやはりpanty)。

僕がこれまで観た2.5次元作品の中では「PLUTO」(演出: 振付: シディ・ラルビ・シエルクウイ/脚本: 谷賢一/主演: 森山未來/原作: 浦沢直樹)の舞台が素晴らしかったです。ロボットの出てくる話なので当然リアルに表現する事には限界がありますが、ダンサーを使った演出やまんがのコマ割りをイメージさせる舞台美術など作品の世界観を創るための仕掛けが秀逸でした。聞いた話では浦沢直樹さんや手塚プロダクションの協力体制が素晴らしく、お互いに作品を尊重し、より良いものを創ろうという創作環境で作品が創られたようです。2018年1月に再演も決定しようなので、興味のある方は是非観劇してみてください。ちなみに「いけない!ルナ先生」は舞台ではないですが、2014年になぜか実写化されたようなので、興味のある方はこちらも是非! 僕も機会があれば見てみたい(笑)

高知、
まんが家
だより

四万十市で「安倍夜郎×左古文男 生まれた場所」原画展を開催

8月5日～13日、高知県四万十市立中央公民館で、同市出身のまんが家・安倍夜郎さんと左古文男さんの二人展「生まれた場所」原画展が開催されました。

4月に刊行された2人の共著『四万十食堂 おかわり!』収録作品のほか、安倍夜郎さんの自伝的作品「生まれたときから下手くそ」の原画を展示。作中に描かれた四万十市の情景や、地元では馴染みの店舗なども紹介されました。

あわせて、四万十漫画倶楽部のコーナーを展開。故郷から後進を育てたいという安倍さんらの想いを受け継いで活動を続けるメンバーたちの作品展示のほか、中村高校漫研関係者の交流を推進する新企画の紹介もありました。



展示室内に試し読みコーナーも設置。展示作品と掲載本を見比べることができました。

トピックス
TOPICS

「横山隆一のフクちゃん 365日+1」増刷&贈呈式

去る7月19日に、高知県庁西庁舎の教育委員室で、「横山隆一のフクちゃん365日+1」の贈呈式が行われました。この書籍は、1956(昭和36)年～1971(昭和46)年まで5534回にわたり「毎日新聞」に連載されたものの中から、四季折々の季節感や、昭和の生活に溶け込んだ習慣や子供たちの遊びを反映したものの366点を編集し、2015年2月に発行いたしました。初版本は、約200冊を高知市内の小学校や図書館等に寄贈しました。あれから約2年、おかげさまで好評をいただき、残数僅少となったため、本年5月に増刷、今回は県内の公立小学校(高知市内を除く)153校への贈呈が行われました。

高知県の田村壮児教育長に本が手渡されると、教育長は「各学校に必ず届けます。フクちゃんを全く知らない子供たちにも、この本を通じてフクちゃんや昭和の生活等を知ってもらおうきっかけになったら……。それにしても懐かしいね」と頁をめくられていました。



トピックス
TOPICS

第26回まんが甲子園開催!

第26回まんが甲子園が、8月5日・6日に高知市文化プラザかるぼーにて開催されました。

国内外から307校の応募があり、予選を勝ち抜いた県内4校(高知県立高知工業高等学校、高知県立高知東工業高等学校、高知県立高知南高等学校、高知商業高等学校)を含む33校が、熱い戦いを繰り広げました。高知県勢は1次競技を通過した高知南高校、高知商業高校に加え、敗者復活戦を勝ち抜いた高知工業高校が決勝戦に臨みました。

決勝戦のテーマは「123」。数字という難しいテーマに各校頭を悩ませながらも自由な発想の力作が出揃い、韓国の全南芸術高校が、国外勢としてはじめて最優秀賞に輝きました。牧野圭一審査委員長は「26回目にしてまんが甲子園にも維新の風が吹いた。インパクトが強く、描き込んであるのに分かりやすい。これがまんがの力だ」と全南芸術高校を講評しました。高知県勢は三菱電機賞を高知商業高校が、高知県市町村振興協会賞を高知工業高校が受賞しました。

また同会場では、高知新聞社主催「第29回黒潮マンガ大賞」の表彰式が行われ、大賞の内田竜嗣さん(千葉県柏市)、準大賞のペンネーム甚平さん(新潟県長岡市)ら、入賞入選7人に表彰状と賞金が贈られました。

トピックス
TOPICS

平岡望さん、ありがとうございます

4月18日に亡くなられた星ヶ岡アートヴィレッジのオーナー平岡望さんを追悼するメモリアル展が8月1日～20日に同ギャラリーで開催され、期間中の5日には「偲ぶ会」も執り行われました。会場には、20数年にわたって交流を深められた作家や芸術家、美術愛好家の方々が次々に訪れ、展示された写真や絵画の前に、氏との思い出話を語り合っていました。

平岡さんは1994年に設立された横山隆一の記念館設立準備会の中心的メンバーで、高知市への施設建設を熱心に働きかける一方、横山隆一の作品展を自身のギャラリーで開催したり鎌倉のお花見に参加するなど隆一との交流は深まってきました。2002年のまんが館開館後は、折々の展覧会・イベントをお見守りいただくなど、本当に横山隆一記念まんが館を愛していました。心よりご冥福をお祈りいたします。



館のご案内

開館時間 9:00～18:00

休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)

常設展示観覧料

一般410円

団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先

〒780-8529 高知市九反田2-1

高知市文化プラザかるぼーと内

横山隆一記念まんが館

TEL:088-883-5029 FAX:088-883-5049

URL: <http://www.kfca.jp/mangakan/>

E-mail: mangakan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザ
かるぼーと3階の入口よりご入場ください。

フク
話わ
内ち

今年、幕末維新150年。高知県では「志国高知 幕末維新博」を開催中ですが、まんが館でも、幕末維新を舞台にしたまんがを色々紹介する関連企画展を2018年1月～3月に開催します。現在準備中ですが、早くも諸々の締切が…。メイン展示のみならず、太郎『風雲児たち』、黒江S介『サムライせんせい』、黒鉄ヒロシ『新選組』&『京都見廻組』からそれぞれ展示シーンを40点ほど厳選する作業に知恵熱を出しています。『風雲児たち』はNHKのお正月ドラマ、『サムライせんせい』は11月から映画公開と話題満載です。企画展、お楽しみに!(穂)